

大阪市都市整備局 けんちくたいけん！プログラム 2022年度 実施概要レポート（プログラム実施の様子と、児童・先生の感想）

R4.12

プログラム まちあるきを行う

◆地域学習のカリキュラムとして宝栄小学校(R4.9.14)で実施しました。

当日の様子

①専門家によるレクチャー



②まちあるき



③グループワーク



④発表



感想



児童

- ・とても楽しかった。つまらなかった登下校が楽しくなった。
- ・普段、あまり建築を見ていなかったけれど、観察してみると面白いものや、不思議な建物があった。
- ・建築は知っていたけれど、その意味が分からなかったからもっと知りたかった。

- ・丁寧に打ち合わせができ、当日も問題なく実施できてよかったです。
- ・こどもたちの意欲が高かったのでまちあるきの時間を長くした方がよかった。



担任

成果事例

◆まちあるきで児童が見つけた魅力的な建築物



良いと思ったところ

- ・窓が細くお城みたいに見える。
- ・建てた人がお城みたいな家に住みたいから、こんな風に建てたと思う。



- ・1階がお店、2・3階が集合住宅になっている。屋根と窓の関係性が面白い。
- ・3階に光など入らなくなるため、この形にしたと思う。



- ・一か所が大きくへこんでいる。
- ・目立たせるためと、ベランダを大きくとるために、この形にしたと思う。

専門家のコメント

- ・立派だなと感じるのは、左右対称で、窓が下から伸びるようなデザインによって高く見えるようになっている。

- ・これは屋根ではなく、壁で屋根裏風の壁に窓をつけている。
- ・ただのビルに見えないよう、昔の建物みたいに工夫したと思う。

- ・立体をかきとった、引き算したようなデザインでまとまりがあるように見える。
- ・左が階段。1階だけに広いスペースが欲しかったからこの形にしたと思う。

お問い合わせ：大阪市都市整備局 企画部住宅政策課（まちなみ環境） 名和・藤井
TEL：06-6208-9621 E-mail：ka0039@city.osaka.lg.jp

◆総合学習のカリキュラムとして、喜連小学校(R4.7.14)で実施しました。

◆国語のカリキュラムとして、長吉出戸小学校(R4.11.2)、喜連西小学校(R4.11.22)で実施しました。

当日の様子

※写真・感想は長吉出戸小学校のものです。

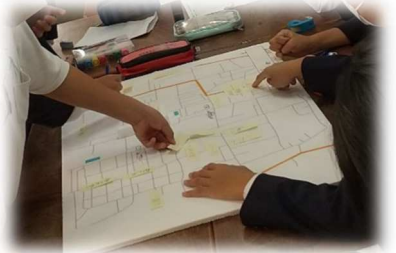
①事前学習



②オリエンテーション(けんちくクイズなど)



③班で話し合い



④模型づくり



⑤発表



⑥完成作品



感想



児童

- ・自分が思う町を想像するとワクワクした。
- ・建築のすばらしさを知った。昔の町、今の町を見比べたとき時代が変わったなと思いました。
- ・自分たちの作りたい街がつくれて楽しかったけど、1つ1つの組み立てが難しくて、本物の建物をつくる人はすごいなと思った。

- ・このように、学校と連携していただけてやっていただくことが10年後、20年後のこどもたちの未来を作っていくと思いました。



担任

成果事例

◆完成した未来のまち



自由な町



安全で豊かな楽しい町



みんなが楽しく遊べる町

工夫したこと

- ・工夫して、道路を作った。
- ・みんなが楽しめて、平和な町を作った。

- ・安全にするために、警察署や信号を置いた。
- ・豊かにするために、植物園やお花畑を置き、楽しくするために、プールなどを置いた。

- ・道や道路を作った。
- ・学校をなくして、アスファルトで勉強をする。



楽しい便利な町



夢の町



安全で楽しい町

- ・場所を取らないために、小・中・高を一貫校にした。
- ・スケボー場に、スケボーの模型を置いた。
- ・道が危ないので、信号をつくり、事故が少なくなるようにした。

- ・大人からこどもまで楽しめるように、屋上がテーマパークの大きいショッピングモールを作った。
- ・刑務所、裁判所をつくり、悪いことをしたらすぐに逮捕できるようにした。

- ・道が危ないので、信号をつくり、事故が少なくなるようにした。